

平成 28 年 11 月 21 日

関係機関の長 各位

東京女子医科大学
学長 吉岡 俊正

東医療センター救急医療科 教授候補者の公募について

謹啓、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学医学部では、東医療センター救急医療科 教授を選考することになりました。

つきましては、救急医学全般に造詣が深く、社会に貢献する女性医人を育成するという本学の建学の精神に則り、教育、研究、診療を推進できる方を公募致します。なお、東医療センターは人口 135 万人を有する区東北部において唯一の 3 次救急を行っている施設です。救急救命センターは 20 床の特定集中治療ベッドと 救急医療科として 13 床の後方ベッドを有し年間 1800 台、病院全体として 5000 台救急車を受け入れています。また、区東北部の東京都災害拠点中核病院としての役割も果たしております。今回公募します教授には、東医療センター救急医療科の診療部長として、これらを担っていただきます。

本学の建学の精神に則り、業績および人物の評価において同等と認められた場合は女性を積極的に登用する方針です。貴施設ならびに関連機関に候補者として適任者がおられましたら、ご周知賜りますようお願い申し上げます。応募に際しては、下記に示す所定の書類を添付して下さい。また、候補者の方には選考過程で、ご来学の上、面接、講演をお願いする場合がありますこと、ご承知おきください。

敬白

教授公募要件

- ・ 日本救急医学会の指導医を取得していること。
- ・ 救急医療（1 次～3 次）における実務経験、および管理、運営の経験が豊富であること。
- ・ 地域災害医療コーディネーターのできる方。
- ・ 人格的に優れ、組織マネージト力があり、チーム医療を牽引できる方。
- ・ 本学の理念である「至誠と愛」を理解し、女性医人の育成や女性の働きやすい職場環境を構築できること。
- ・ 医療安全に関して A または B を満たす方（応募の段階で満たない場合は、就任後、1 年以内に満たせばよいこととします）。

A：医療安全対策室において 24 日間以上実務者として勤務(週 1 日で 6 ヶ月間等も可)

B：リスクマネージャー1 年以上の経験

記

1. 提出書類（別紙 1、「必要な書類」参照）

- | | |
|----------------|------|
| ①履歴書 | 1 部 |
| ②業績目録 | 1 部 |
| ③主要論文、別刷 | 10 編 |
| ④主要論文 10 編の説明書 | 1 部 |
| ⑤診療実績録 | 1 部 |
| ⑥自己評価書 | 1 部 |
| ⑦推薦書（5 通まで） | |
| ⑧推薦者一覧 | |

（注意事項）

- ・提出書類は、必要に応じてクリップ留めとし、針の有無に係わらずステープラー（ホッチキス）等は使用しないでください。
- ・③および⑦を除く、上記書類は電子ファイル（ワードあるいはエクセル）としても保存し、書類と共に USB メモリーまたは CD も同封して下さい。
- ・書留便などの履歴が残る方法で送付してください（持ち込みはお受けできませんので、ご注意ください）。
- ・提出書類および電子ファイルは返却致しませんが、応募情報の漏洩なきよう厳重に管理の上、選考終了後当方にて責任を持って処分を致します。

2. 締切期日：平成 29 年 1 月 16 日（月）12 時必着

3. 提出先：〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学 学長宛
（「東医療センター救急医療科 教授 応募書類」と朱書きして下さい。）

4. お問合せ先：東京女子医科大学 学務部医学部学務課 電話 03-3353-8111（内線）22112

所定様式は本学ホームページ（HOME > 新着採用情報）からダウンロードして下さい。

必要な書類

(1) 履歴書 (所定様式。写真貼付)

学歴、職歴、教育歴、研究歴、診療歴、学会活動、社会活動、受賞歴に分けて記載して下さい (相互に重複することは差し支えありません)。各履歴には、下記を明記して下さい。

- 1) 学歴：学位、留学を含む
- 2) 教育歴：卒前教育、卒後教育、大学院教育および学位論文指導、教育関係の委員などを含む
- 3) 研究歴：研究領域、研究テーマ、研究費取得状況 (研究代表と分担を分けて、タイトル・年度・金額を記載)、特許など
- 4) 診療歴：認定医・専門医・指導医 (番号、取得年)、救急診療従事状況 (1 週間の診療スケジュールを記載)、診療関係の院内委員 (保険委員、医療安全管理委員など)
- 5) 学会活動：所属学会名と入会年、学会役員、委員 (雑誌編集委員など)
- 6) 社会活動：患者教育・支援活動、社会における啓発や施策への協力など。
- 7) 受賞歴：学会活動、社会活動、学内活動などにおける受賞。

(2) 業績目録 別紙 (所定様式) により、記載して下さい。

(3) 主要論文、別刷 10 編

主要な原著論文 10 編をあげ、その 10 編の論文の別刷を各 1 部ずつ添付して下さい。

(4) 上記 (3) の主要な原著論文 10 編の論文について、論文名等を (2) 業績目録の形式で記載し (Impact Factor 含む)、各々の論文の独創的な点について 200 字以内の説明を記載して下さい。

(5) 診療実績録

診療実績の参考とするために病院に保管登録された診療録に基づき、救急診療患者の診療実績を下記の項目に分けて記載してください。

2013 年 4 月から 2016 年 3 月までの 3 年間の、

1) 救急診療患者の総数 (貴施設全体)

三次救急患者数	例 (成人	例、小児	例)
	(そのうち、自らが診療に当たったおおよその割合		%)
一次および二次救急患者数	例 (成人	例、小児	例)
	(そのうち、自らが診療に当たったおおよその割合		%)

2) 疾患別患者数 (貴施設全体)

三次救急患者	心肺停止	例
--------	------	---

急性心不全	例
急性呼吸不全	例
脳血管障害	例
内因性意識障害	例
消化管出血	例
急性腹症（消化管出血以外）	例
重症敗血症	例
急性中毒（薬物など）	例
多発外傷	例
重症熱傷	例
その他（ ）	例

一次および二次救急患者

頻度の高い順に5疾患を挙げ、そのおおよその割合を記載してください

（例： 外傷 20%、 熱傷 15%など）

3) 入院患者数

三次救急患者	例(そのうち、他の診療科への入院	例)
一次および二次救急患者	例(そのうち、他の診療科への入院	例)

4) 手術実績（貴施設全体）

三次救急患者での総手術例数	例
一次および二次救急患者での総手術例数	例

上記のうち、自らが執刀した患者数を上位3疾患について記載してください。

（例：急性腹症 例、頭部外傷 例、など）

(6) 自己評価書

教育、研究、診療、将来への抱負に関する自己評価書を具体的に記載してください。

（A4版を使用のこと）

- 1) 教育：学部教育としての講義、実習、少人数教育（チュートリアルなど）の経験および大学院生教育の経験と、その教育に対する考えを記載してください。特に、女子医学部生、女性医師の教育経験とその考えについても記載してください。（800字以内）また、卒前、卒後教育における年間の講義・実習の担当表も添付して下さい。
- 2) 研究：主な研究分野とその業績、今後の展望と抱負を記載してください。（800字以内）
- 3) 診療：実績、専門領域、特殊技能などを記載してください。（800字以内）
- 4) 将来への抱負：ご自由にお書きください。（800字以内）

(7) 推薦書

応募者との関係と交流期間を明示の上、教育、研究、診療に関する能力および人物についての評価を1,200字程度（A4用紙1枚目安）で記載していただいでください。

推薦人の依頼先は国内外を問いませんが、応募の締切期日に注意してください。推薦人は最大5名迄にしてください。

推薦書は記載者から直接、学長宛に期間内に御送付ください。なお、封書の表書きに朱書きにて「親展」と記載し、書留便などの履歴が残る方法で送付してください。

(8) 推薦者一覧

推薦者の氏名・所属・役職・住所を明記した一覧表を応募書類に加えてください。

以上